学校番号	３０９

令和３年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ｂ	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	現代文Ｂ（第一学習社） （第３年次では第Ⅱ章を中心に扱う）						
副教材等	・プログレス現代文総集編標準編 ・読み解くための現代文単語						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「基礎的・基本的な知識・技能」として、語彙力や知識を増やすことは、いずれ「知っていること」を「使う」ために必要不可欠です。授業内で学習する漢字を含めた語彙や文学史にとどまらず、多くの書籍にあたり「基礎的・基本的な知識・技能」の習得に努めましょう。
・「知っていることを使ってどのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」は皆さんの「思考力」が重要ですし、多くの情報や選択肢の中から自分なりの答えを選ぶ「判断力」が重要になってきます。暗記にとどまらず、自分の頭で考える習慣を身につけましょう。
・また、自分の考えを適切に表現できるようにしましょう。
・発問に対して考えたことを積極的に発表しましょう。
・提出物は期限を厳守し、また、定期考査は授業後の復習を大切にして臨みましょう。

2　学習の到達目標

・言語感覚を磨き論理的な思考力や豊かな想像力を身につけ、場面に応じて活用することができる。
・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を読み取り、理解することができる。
・人間関係において互いに尊重し、相互理解を深め正しく意思を伝え合うことができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり話し合ったりして、自分の考えをまとめ深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身につけている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、プリント等）	ワークシート	ワークシート	ワークシート及び小テスト	ワークシート及び小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	評論一	『「私」中心の日本語』	○	◎			○	a:筆者の主張や文章の展開を的確に捉えようとしている。 b：自分の意見を的確に伝え、他者の意見を傾聴する姿勢を持とうとしている e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a、e: 行動の観察及び記述の点検 定期考査 b:ワークシート e:小テスト
	評論二	『ミロのヴィーナス』	○		○	◎	○	a：文章の構成や展開を確かめ、筋道を的確に捉えようとしている。 c：ミロのヴィーナスの「魅惑」についての自らの考えを論理的に捉えようとしている。 d:考えの進め方や、文章の筋道を的確に捉えている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 c:記述の点検及び確認 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト
	小説一	『山月記』	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを的確に捉える中で、小説の中で描かれる普遍的なテーマを捕らえようとしている。 d:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。 e：正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認及び定期考査 e:小テスト
	評論二	『働かないアリに意義がある』	○	○		◎	○	a:文章の構成や展開を確かめ、筋道を的確に捉えようとしている。 b:自分の意見を的確に伝え、他者の意見を傾聴する姿勢を持とうとしている。 d:考えの進め方や、文章の筋道を的確に捉えている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a、b:行動の観察及び記述の点検 d: 記述の確認及び定期考査 e:小テスト

2学期	詩歌	『永訣の朝』	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。 d:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認と分析及び定期考査
	小説二	『葉桜と魔笛』	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 d:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認分析及び定期考査 e:小テスト
	表現	『創作の楽しみ・短歌と俳句』	○			◎	○	a: 文章の構成や展開を確かめ、筋道を的確に捉えようとしている。 d:考えの進め方や、文章の筋道を的確に捉えている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認と分析及び定期考査 e:小テスト
	評論三	『動的平衡』	○			◎	○	a:文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察しようとしている。 d:文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察している。 e: 正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認分析及び定期考査 e:小テスト

3学期		『こころ』	○			◎	○	a: 人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 d:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。 e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認と分析及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力　　c:書く能力
d:読む能力　　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。